

『ガストース』の採用で無停止成形が実現できます。

* ガスの付着による「詰まりやすさ」の違い

・ 一般的なガスベント

- ガスが内壁に沿って流れるため、短時間で内壁に付着し、通路がふさがってしまいます。
- これによりベント詰まりが頻発し、成形が停止する原因になります。

・ 『ガストース』

- ガスの内壁への接触が少なく、付着しにくい構造です。
- さらに、テーパ部が「ガス溜まり」として働き、仮にガスが付着しても、を防ぐことができます。
- 通常の突き出しピンを同じサイズの『ガストース』に入れ替えるだけで無停止成形が出来ます。生産数に応じてガストースの本数を増やすことで1週間を超える長時間の無停止成形も実現できます。

* 『ガストース』と一般的なガス抜きベントの排気図で表しました。

